

<景気見通し調査(9月度) 特別調査>

「コロナ終息後に向けた事業への 取り組み予定と今後の見通し調査」

【調査結果】

令和2年9月期

福井商工会議所 中小企業総合支援センター

○調査目的：新型コロナウイルスの影響で各事業所が大きな影響を受けているなか、管内小規模事業者の今後の取組予定と見通しについて調査した。

○調査時期：令和2年8月31日(月)～9月9日(水)

○調査方法：FAXによる送付・回収、Googleフォームからの回答受付

○調査対象：福井商工会議所の会員 小規模事業所を中心に420件を抽出

(製造業・建設業・その他・・・従業員20人以下の事業所

卸売業・小売業・サービス業・・・従業員5人以下の事業所)

○回答数：236件 (回答率 56.2%)

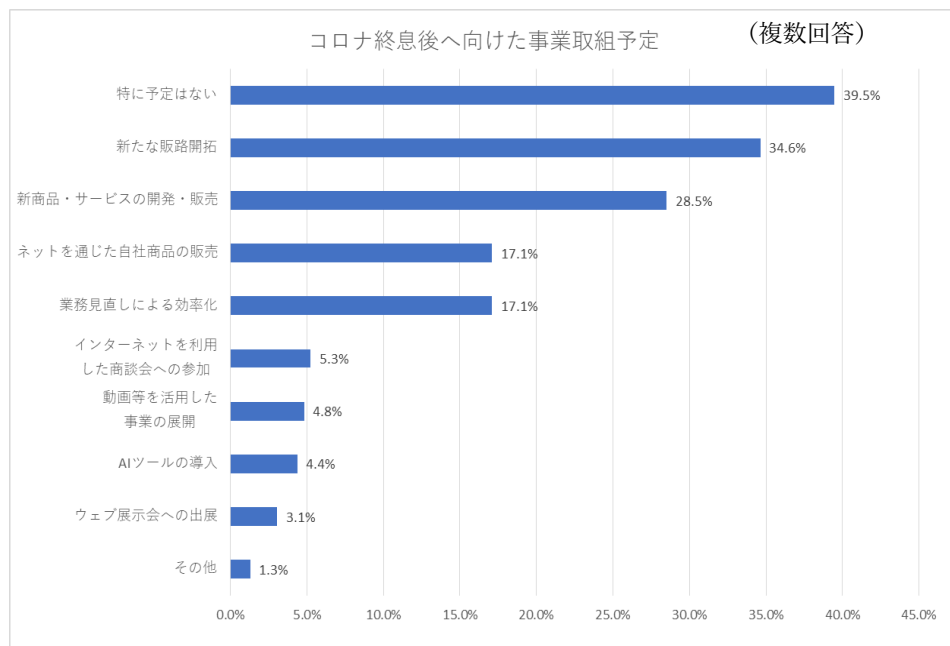
従業員数	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	合計
5名以内	16	26	24	18	32	116(49.2%)
6～10名以内	16	11	7	5	8	47(19.9%)
11名以上	25	14	6	10	18	73(30.9%)
小計	57(24.1%)	51(21.6%)	37(15.7%)	33(14.0%)	58(24.6%)	236(100.0%)

Q1. コロナ終息後に向けた新しい事業への取組予定

【コロナ終息後も現状維持が約4割】

現在コロナウイルスが大きな影響を及ぼしている中、今後のコロナ終息後に向けた新たな事業への取り組み予定について、全体平均では「特に予定はない」との回答が39.5%で最も多かったが、建設業を除く製造、小売、卸売、サービスの各業種では「新たな販路開拓」に取り組む予定が最も多く、前向きなチャレンジの姿勢がみえた。また、「新商品・サービスの開発・販売」も製造、卸売、小売業では2番目に多く、販路開拓とあわせた動きがみられた。非対面ビジネスへの転換として「ネットを通じた自社商品の販売」が17.1%あったのに対して、「インターネットを利用した商談会への参加」5.3%、「動画等を活用した事業の展開」4.8%と、最近のITを活用した事業への展開は検討されにくい傾向が見て取れた。

従業員数別にみると、従業員がいない事業所では約半数となる55.6%の事業所が「ネットを通じた自社商品の販売」に取り組むと回答した。



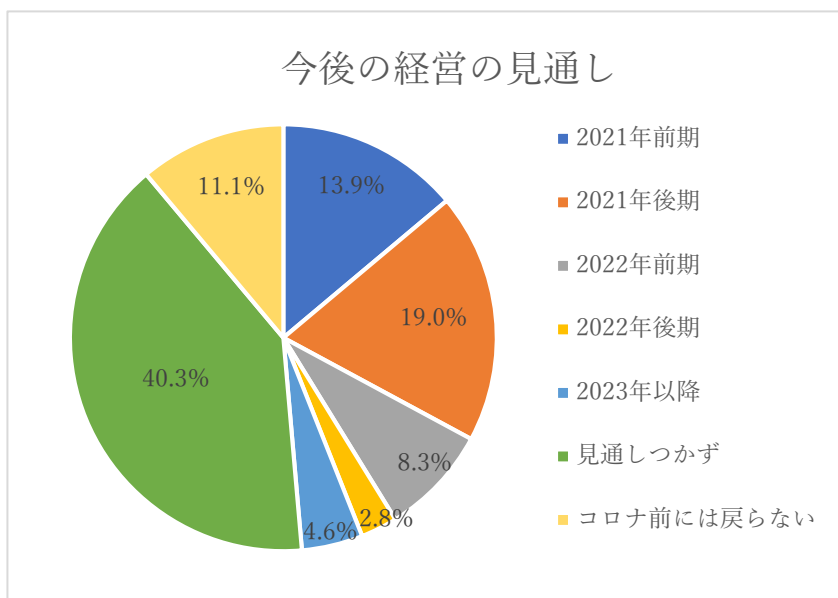
	全業種	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業
特に予定はない	39.5%	37.5%	67.3%	30.6%	20.0%	33.3%
新たな販路開拓	34.6%	42.9%	18.4%	38.9%	43.3%	33.3%
新商品・サービスの開発・販売	28.5%	37.5%	8.2%	36.1%	36.7%	28.1%
ネットを通じた自社商品の販売	17.1%	21.4%	2.0%	33.3%	23.3%	12.3%
業務見直しによる効率化	17.1%	10.7%	14.3%	11.1%	23.3%	26.3%
インターネットを利用した商談会への参加	5.3%	8.9%	4.1%	5.6%	3.3%	3.5%
動画等を活用した事業の展開	4.8%	7.1%	0.0%	5.6%	3.3%	7.0%
AIツールの導入	4.4%	3.6%	0.0%	2.8%	6.7%	8.8%
ウェブ展示会への出展	3.1%	3.6%	2.0%	2.8%	3.3%	3.5%
その他	1.3%	1.8%	2.0%	2.8%	0.0%	0.0%

Q2. 自社売上回復の見通し

【約4割の事業所で売上回復の見通しつかず】

自社売上の回復の見通しでは、「見通しつかず」が40.3%と最も多かった。これは、コロナ感染終息の見通しや、アフター、もしくはウィズコロナのタイミングとなっても、自社の売上がどこまで回復するのわからないことによる強い不安感のあらわれである。これに次いで、「2021年前期」13.9%、「2021年後期」19.0%と、来年中には売上は回復するとした見通しの企業は約3割となった。

業種別にみると、卸売業では半数以上の事業所が「見通しつかず」と回答。また、建設業では他業種が「2021年前期」より「2021年後期」に回復の見通しとの回答が多いのに対し、「2021年前期」には回復する見通しと回答した事業所が約3割あり、他業種と比べ売上回復に対する見通しが早い結果となった。



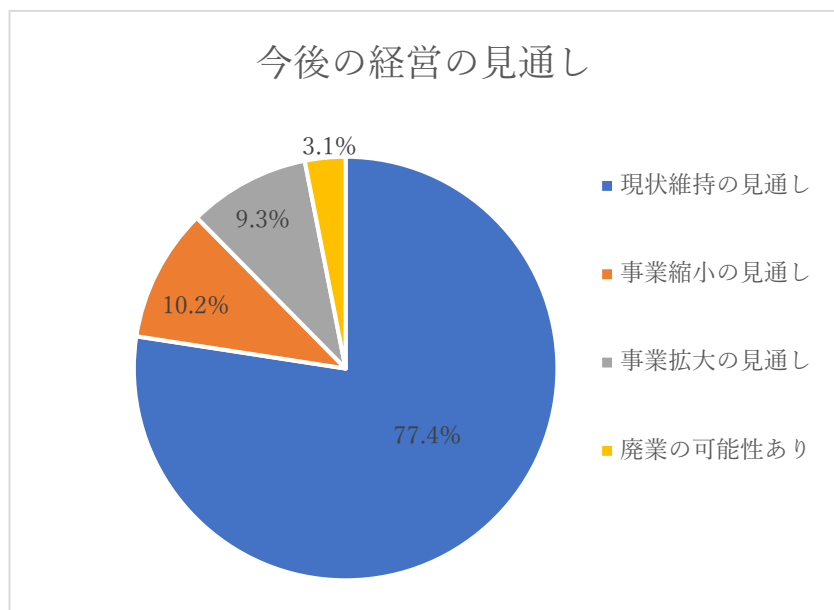
	全業種	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業
2021年前期	13.9%	16.6%	28.6%	8.6%	3.2%	9.3%
2021年後期	19.0%	20.4%	11.9%	17.2%	16.1%	25.9%
2022年前期	8.3%	3.7%	4.8%	11.4%	9.7%	13.0%
2022年後期	2.8%	1.9%	2.4%	5.7%	0.0%	3.7%
2023年以降	4.6%	0.0%	7.1%	11.4%	0.0%	5.6%
見通しつかず	40.3%	42.6%	38.1%	31.4%	54.9%	37.0%
コロナ前には戻らない	11.1%	14.8%	7.1%	14.3%	16.1%	5.5%

Q3. 今後の経営の見通し

【現状維持が8割を占めるも 小売業・卸売業では事業縮小の見通しも】

今後の経営の見通しでは、77.4%と、約8割の事業所が「現状維持の見通し」と回答する中、「廃業の可能性あり」との回答も3.1%あった。

業種別に見ると、小売業・卸売業で「事業縮小の見通し」が14%以上と他業種と比べて回答が多く、「廃業の可能性あり」との回答も、5%を超えるなど、他業種と比べ、今後の経営の見通しが厳しい状況が伺えた。



	全業種	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業
現状維持の見通し	77.4%	72.7%	90.0%	71.4%	69.0%	78.9%
事業縮小の見通し	10.2%	9.1%	4.0%	14.3%	17.2%	10.5%
事業拡大の見通し	9.3%	16.4%	4.0%	8.6%	6.9%	8.8%
廃業の可能性あり	3.1%	1.8%	2.0%	5.7%	6.9%	1.8%